

5 新しい時代の子ども会活動を

新型コロナウイルス感染症を想定した「新しい生活様式」の実践が言われています。

私たちも、感染症対策を十分に行い、工夫をしながら、楽しく子ども会を続けていくため、次の点に注意して活動しましょう。

(1) 行事を企画するとき

① 行事の規模、内容、場所等に配慮しましょう。

□ 三密を避けるために、参加人数を限定する。

人と間隔は2メートル(最低1メートル以上)確保できるとされています。

□ 接触時間を抑えるため、行事の時間を区切る。

□ 飛沫感染を抑えるため、大きな声を出す行事を避ける。

□ 場所は、できるだけ屋外の広い場所にする。

室内の場合は、十分な換気ができる場所にする。 等

② お家の方と連携し、次の場合は、行事に参加しないようお便りに明記しましょう。

□ 体調がよくない場合（発熱・咳・嘔頭痛などの症状がある）

□ 同居の家族や身近な知人に感染が疑われる人がいる場合 等

③ お便りには、当日の発熱や体調を記入してもらおう問診票をつけて、行事当日の受付の際に提出してもらいましょう。また、必ず自分のハンカチやタオルを持参してもらうよう、明記しましょう。

④ 行事当日の手洗い・消毒の担当者、換気の担当者を決めて、対策を確実にできる体制を確立しましょう。

⑤ 新型コロナウイルス感染者や濃厚接触者が活動に参加していたことがわかった場合の対応（役割分担、連絡先等）を予め話し合っておきましょう。

(2) 行事当日

① 受付、問診票の受領

(ア) 参加者の確認

参加する人の名前、連絡先が記載してあるか漏れなく確認しましょう。

(イ) 健康状態の確認

問診票を確認するとともに、体調がよくない子がないか確認しましょう。

また、受付時にも発熱等、風邪の症状がないか、再度確認しましょう。

② 行事開始前に守ってほしいことを確認しましょう。

(ア) 3密（密閉、密集、密接）の避けること。

(イ) 行事中はマスクを着用すること。ただし、夏季は熱中症を防止するため、屋外で人との距離を2メートル以上確保できる場合は、マスクをはずすこと。

(ウ) 活動の前や途中で石鹸を使った十分な手洗い、手洗いが難しい場合はアルコールによる消毒を行うこと

③ 行事で多くの人に触れるドアノブやテーブル、椅子等は、行事前や途中で消毒を行いましょ。また、文房具や用品等、1つのものを共用する場合は、1人が使い終わる都度、アルコール等により拭き取り消毒をしましょ。

④ 室内の場合、窓開放による換気を常時、難しい時は30分に1回、10分程度、対角線上の窓を同時に開けて行いましょ。エアコンを使用している時も換気は必要です。（通常、エアコンは部屋の中の空気を循環させているだけです。）

⑤ 事前の子ども会KYT（危険予知トレーニング）で、感染症対策をテーマに話し合いましょ。

(3) 行事終了後

① 行事で多くの人に触れたドアノブやテーブル、椅子等の消毒を行いましょ。文房具や用品等も同様です。

② 会場を出る前に、石鹸を使った十分な手洗い、手洗いが難しい場合はアルコールによる消毒をしましょ。

③ 問診票は、責任者のもと1か月間管理しましょ。1か月経過後、参加者・行政機関からの問い合わせがない場合は、シュレッダー処理などなど、個人情報漏れることがない形で名簿を廃棄しましょ。